

第7回自然エネルギー学校 2016 パート1の報告

5月22日（日）13時25分からJR川口駅東口キュポ・ラ7階「メディアセブン」プレゼンテーションスタジオで、第7回自然エネルギー学校 2016 パート1～再生可能エネルギーを増やすために～電力自由化を賢く活かそう！が、参加者50人が集まり、開催されました。

橋本副代表の開催の意義についての挨拶に続き、家庭の省エネエキスパートの板橋隆央様の電力自由化とはという基調講演がありました。

自由化の目的、経過と現状と今後の見通し、また海外での自由化事例など示唆に富むお話でした。後半は再生可能エネルギーの定義から、その導入実績や固定価格買取制度（FIT）の改正内容、また太陽光発電設備の廃棄問題など多岐にわたるお話がありました。



配布資料の整理



司会の佐々木さん



橋本副代表



板橋隆央さん



つぎは、新電力各社の取り組みについてです。最初に、みんな電力代表取締役の大石英司様から、どこから給電されているかが分かる日本で唯一の「顔の見える電力」会社としてのコンセプト、仕組み、料金メニューなどについて、お話ししていただきました。給電元は **ENECT** を検索で探すことが出来ます。現在、電気を買いたいという申し込みが **1,500** 件あることや、みんな電力さんへ意見を提案できる出張講座もあるとのこと。起業は、電

池切れの携帯を持って乗っていた地下鉄車内で見かけた小さな太陽光発電器を身に着けていた美しい女性がきっかけとか、、、



大石英司さん



二つ目の新電力の取り組みは、パルシステム電力の野津秀男さんから、パルシステムの理念やエネルギー政策について、また、各地配送センターの屋根に設置してある 1.5MW の太陽光発電設備など再生可能エネルギー創りに積極的にかかわって来ている。太陽光以外にも生産者による鶏糞の燃焼による発電や小水力発電にも取り組んでいる。今秋から組員向けに売電を FIT 電気 70%で行う予定。



野津秀男さん



最後の質疑応答に続き、電力自由化をきっかけに、再生可能エネルギーを増やすためには何が出来るかを話し合いました。3 講師の方々の答えは、再生可能エネルギーの需要がこんなにあると世の中に示すこと、それが投資を呼び、再エネの供給量を増やしていくことに繋がっていくと、話されていたのが印象的でした。そのためにも、再エネを選ぶと宣言する (EOE JAPAN) などをしていこうと思いました。



以上